



何かが変わっていくとき

校長 友生 雅夫

11月も残すところあと2週間です。大きな行事が先週終了し、子どもたちもようやく一息つけたところです。

先日、市の陸上記録会の予定でしたが、天候も悪く、気温も低いこともあり、中止になりました。少し残念でした。それは、昨年、陸上記録会が終わったとき、先生方にある投げかけをしていたからです。記録会終了後、子どもたちは結果が出なかったことをとても残念そうに話していました。ただ、練習に取り組む姿勢を見ていくと、少しずつを感じました。そこで、「ひたむきさと何か」ということについて話をしました。

この1年、先生方が朝の活動の時間、体育の時間など新体力テストで県平均より劣っている部分を補強してきました。握力をつけるために、グーパー体操をしたり、柔軟性を高めるためにストレッチをしたり、投げる力をつけるためにキャッチボールなどしたり、ステッピングを取り入れたりしてきました。毎日校庭から、教室から子どもたちが取り組む声が聞こえてきて、「がんばっているな」と思いながら毎日元気をもらっています。また、それを粘り強く続けてくださっている先生方もありがたいです。目に見えて変化したわけではありませんが、長いスパンで見ると走の力、投げる力などついてきたなあと感じました。運動会や陸上記録会の練習を見て、それぞれの子が伸びている姿を見て、手応えを感じていました。

午後からは、雨が上がるということで校庭を整備しました。急造でしたが、グラウンドが整い、実施予定の種目を行っていききました。800m、走り幅跳び、徒競走、ハードル、リレーの順です。それぞれが自己ベストをめざし、種目に取り組みました。子どもたちも気合いが入っていて、真剣なまなざしでした。種目が終わると、「自己ベストが出た」と喜んでいる姿が印象に残りました。もちろん、結果が出なかった子どももいましたが、すがすがしい表情をしていました。学校で実施したこともあり、保護者の方々の応援もあり、また後半は他の先生方の応援もあり盛り上がりました。

最後の400mリレーは、説明をしてからの実施でした。本校の校庭は、1周130mであり、リレーを実施することはとても難しいです。1回練習をしたあと本番となりました。子どもたちはよく考えながら確実にバトンを渡し、5、6年どちらともゴールすることができました。

陸上記録会の練習は、3回だけでした。その中で、「上手になりたい」、「遠くに跳びたい」、「記録を縮めたい」という思いが伝わる練習になりました。そして、その成果を本番で十分に発揮することができたと思います。地道に努力を続けることは、根気がいることです。でも、続けたことが今回の結果につながったと思います。自信にして欲しいと思います。

6年生にとっては、あと4か月半で卒業です。この体力づくりでみせた頑張りを下学年にも見せ、どんどん引っ張って欲しいと思います。そして、飯牟礼小学校をどんどん変えていって欲しいです。期待しています。